

▶▶▶ 氷川町

DX(※)による八代圏域 ツナガルプロジェクト



熊本市から移住されたご家族

分類 移住・定住促進

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費

2,890千円
寄附目標額 1,400千円

計画期間

2021年4月1日～2024年3月31日

数値目標

- 転出超過数……………70人
- 大学連携等による地域づくり活動の
交流人口……………250人
- SNSのフォロワー数(フェイスブック、
インスタグラム)……………2,520人
- 移住相談件数……………12件

若者の圏域内定着と移住を支援

(1) 若年者の圏域内定着への対策【人への支援】

就職ガイダンスの実施、やつしろオシゴト図鑑の発行、実践型インターンシップの支援、圏域内高校におけるIT人材育成事業等への支援、高等学校就職指導教諭等との連携などにより、高校生に対し多くの圏域内企業の情報を提供し、圏域内就職を支援。企業側に対しても若年者に選んでもらえるような工夫を促し、その支援も実施する。

(2) UIJターン者等の支援【人への支援】

ターゲットに即した情報発信媒体の構築・活用、オンライン相談会の実施、圏域内企業とUIJターン者のマッチング、UIJターン者に対する個別支援などにより、幅広い年齢層へ広く情報を発信し、UIJターンを目的に圏域を訪れる方に対し支援を実施する。

(3) 圏域内企業のDX推進【企業への支援】

DX導入セミナー等の開催、DXサポーター(仮)の配置、ICTによる販売促進活動の支援、副業人材の活用支援、サテライトオフィス等の誘致・支援などにより、DXに向け、企業に知識がない、方策や手法がない、適切なスキルをもった人材が獲得できない、サポート企業が少ないという環境を解消する取り組みを実施する。

※IoTやAI等のデジタル技術でヒト・コト・モノをつなぎ、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること



ここがポイント

氷川町は、生活圏域を共にする八代市、芦北町との間に「定住自立圏形成協定」を締結しており、お互いの地域特性を活かしながら、様々な分野で連携しています。

※移住に関する情報は

<https://www.town.hikawa.kumamoto.jp/ijuu/default.html>



氷川町では「お試し住宅」も3戸準備しています。